

人との対話を拡張するアンドロイドアバターの研究開発

概要

アンドロイドアバターに映像や音などの多様な表出デバイスを統合することで、人以上に多様な表出方法を用いながら他者と対話できる対話インタフェースを実現することができます。他者の存在を感じつつ、さらに対面に対話するより意図や感情などを明確に伝えることができるようになります。

特徴

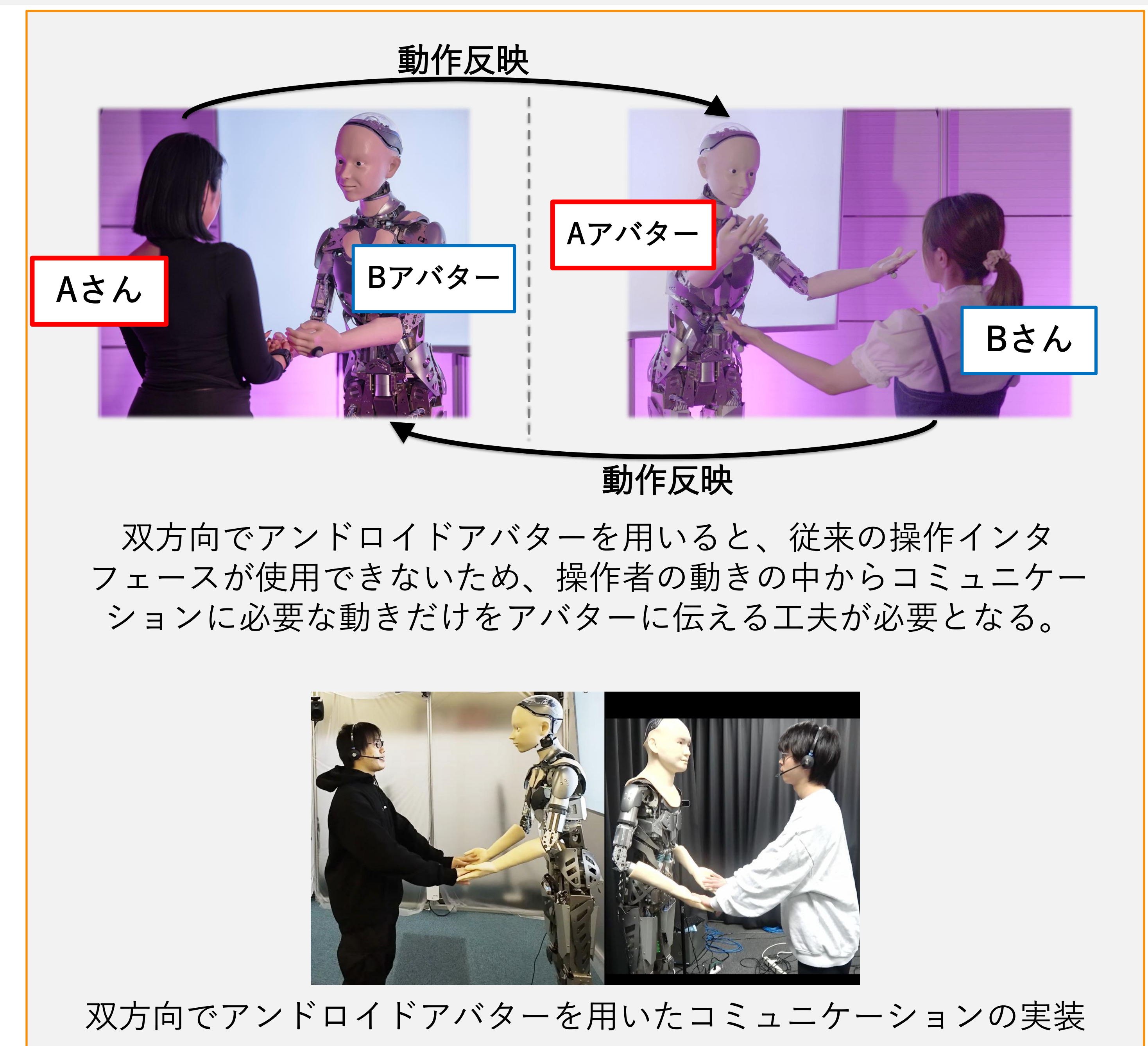
- アンドロイドアバターを遠隔対話のインタフェースとして用いると、アンドロイドの人らしい動きによって、対話相手は、操作者がその場にいないとしても、対面しているように対話することができます。
- さらに、アンドロイドアバターに、映像や音などの多様な表出や、操作者本人人よりも丁寧な振る舞いを表出させることで、操作者がその場にいる時以上の表現能力を使った対話が可能です。
- 本年度は、昨年度のデモを進化させ、離れた場所にいる2名が、互いにアンドロイドアバターを操作しながら、相手とインタラクションを行えるデモを紹介します。

今後の展開

- 対話能力を拡張できるアンドロイドアバターを用いて、人同士のつながりを拡張することができるアバターの実現を目指します。

テーマ「社会課題と向き合う科学技術の最前線」との関連

- 人同士のつながりを強化できるアバターコミュニケーションにより、コミュニケーション能力低下とそれに伴うコミュニケーション不足による、コミュニティ維持・形成が引き起こす様々な社会課題の解決につなげます。



株式会社国際電気通信基礎技術研究所
石黒浩特別研究所

担当: 港 隆史 E-Mail: minato@atr.jp